

講義名	リゾート論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	辻本 千春		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 1時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	41057

主題と概要

現在、世界の観光において、年間約13億人が国境を越えて国際観光客として観光を行っています。その中で世界全体の国際観光到着者数の52%（2016年、UNWTO）がヨーロッパに向かっていきます。いろいろな理由がありますが、大きな理由の一つは、地中海沿岸に広がる海浜リゾート地です。ヨーロッパに比べると日本のリゾート地は限られていますが、リゾートとは、そもそも何なのか、その歴史や意義、世界のリゾート地の成り立ちを多角的に分析します。大きく分けて、リゾートの概観と歴史、海外のリゾート地の開発形態と現状、国内のリゾート地の特徴、国際観光やMICEとリゾートのかかわり、について学びます。

到達目標

- | | |
|----------|---|
| a. 知識・理解 | ・リゾートの定義について説明できる。
・リゾートの歴史的な変遷を具体的に説明できる。 |
| b. 思考・判断 | ・国内外のリゾート事業の特徴を理解し、課題について述べるができる。 |
| c. 関心・意欲 | ・リゾート事業のマネジメントを自分のキャリアと関連して考えることができる。 |
| d. 技能・技術 | ・観光産業に関連する資格取得に挑戦することが出来る。 |
| e. その他 | ・学んだマネジメントやマーケティング手法を他の業種や業態に当てはめることが出来る |

提出課題

・毎回小レポートを課します（出席確認を兼ねる）。8回目の授業で小テストを行います。

評価の基準

・授業回数の3分の1（5回）を欠席すると定期テスト（あるいはレポート提出）の受験資格はありません。

・平常点40%（小レポートを含む）、定期試験（またはレポート）60%（中間小テストを含む）とし、総合評価とします。なお、欠席、遅刻は平常点の減点対象とします。

履修にあたっての注意・助言他

・座席指定を行います。
・授業中の携帯・スマホの使用は禁止します。減点対象。
・そのほか私語、着帽等は許可しません。注意しても改善されない場合は欠席扱いとなります。

教科書

・使用しない。

プリント資料及び参考文献

・必要に応じてプリントを配布します
・参考文献・・・必要に応じて紹介します。

授業計画

- はじめに
リゾートとは（定義、概念）
- リゾートの歴史
世界と日本
- リゾート法（総合保養地整備法）
成立の背景
- 海外旅行とリゾート
日本の海外旅行とリゾートの関係
- 海外リゾート1．スキーリゾート
スイス/オーストリア
- 海外リゾート2．ビーチリゾート
ヨーロッパ、太平洋
- 発展途上国のリゾート1．開発スキーム
インドネシアのリゾート開発
- 発展途上国のリゾート2．
フィリピン/タイ
- 国内リゾート1．スノーリゾート
北海道
- 国内リゾート2．ビーチリゾート
沖縄/石垣
- 国内リゾート3．温泉地
城崎
- リゾートの新しい潮流1．クルーズ
リゾートとしてのクルーズ
- リゾートの新しい潮流2．IR（カジノを含む統合型リゾート）
IRの現状と課題
- 国際観光におけるリゾートの役割
国際観光客の動き
- まとめ、リゾート事業の課題と展望

予習・復習

・毎回の授業内容が変わるため、必ず復習が必要です。
・観光に関する情報は日々新しくなっていますので、教科書以外にも新聞やメディアのニュースを積極的に読んで入手してください。

備考

・外部講師を予定しています。
・2年生以上の学生は「企業論特別講義（サービス）」を受講することを勧めます。この授業と関連する業界の企業、組織の講義もあります。